

# 立命館経済學

第 43 卷 第 2 号

1994 年 6 月

## 内 容

### 論 說

- 日本の金融システム……………小 野 進 1  
 ——メイン・バンク制と企業との関係——
- FMS の生成と展開（Ⅱ）……………高 木 彰 46
- 日本の消費関数……………平 田 純 一 78  
 ——1955年以降の四半期データを中心とした分析——
- アンケート調査にみる日本企業の海外直接  
 投資動向といくつかの特徴……………本 田 豊 110  
 森 川 浩 一 郎

### 研 究

- I-O 表による中・日環境問題の分析……………李 潔 144  
 ——化石燃料の消費による汚染物資の発生——
- 資本主義の発展と生活様式の変化……………森 脇 丈 子 158  
 ——アグリエッタの「フォーディズム」概念を素材として——

### 書 評

- 三好正巳著『産業労働論序説  
 ——生産システムと労働——』（法律文化社，1993年）……………仲 村 政 文 172

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第42巻・第6号

論 説

- 「情報化」と価値概念の「ゆらぎ」……………高 木 彰  
技術革新と民間設備投資……………本 田 豊  
離職率と賃金構造……………大 日 康 史  
太 田 聰 一  
竹 廣 良 司

研 究

- 課税ベースの選択をめぐって……………飯 野 公 央  
経済のサービス化の要因分析……………五 十 嵐 直 子

学位論文審査報告

小檜山政克「労働価値論と国民所得論」

小牧聖徳「金融経済の研究」

共同研究室

立命館大学経済学会セミナー

本年度会員業績・総目次

立命館大学経済学会会則

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第43巻・第1号

論 説

- 抗争的交換と可変資本節約の論理……………角 田 修 一  
——ラディカル派エコノミストの労働過程＝労働市場論——  
日本の消費関数……………平 田 純 一  
——1955年以降の暦年データによる分析——  
環太平洋における経済成長と環境問題……………稲 田 義 久  
五 十 嵐 直 子  
——計量モデルによる分析——

学位論文審査報告

唐沢 敬「石油と世界経済」

姜 昌周「再生産構造と地代理論

——虚偽の社会的価値の研究——」

発行所 立命館大学経済学会